



竹迫 和代（たかば かずよ）

家庭・地域・学校・職場が、
今より暮らしやすく、学びやすく、
働きやすくするための方法やプロセスを支援し、
一人ひとりがその「場」で生き生きと活動できる、
“参画文化”を育むお手伝いをしています。

経歴	<p>1900年 福岡生まれ</p> <p>1994年 日本大学大学院教育学博士前期課程修了 国立教育研究所客員研究員</p> <p>1996年 株式会社計画技術研究所研究員となり、市民参加のまちづくり 計画策定・人材育成に携わる。</p> <p>2004年～ 江戸川区「江戸川総合人生大学」まちづくり学科専任講師</p> <p>2007年 「参画はぐくみ工房」設立。ファシリテーションの普及・研修 を行う</p> <p>2007年～ パブリックハーツ株式会社プロジェクトパートナー</p> <p>2007年 群馬県社会教育関係職員等研修を担当</p> <p>2008年～ 川崎市にて地域コーディネーター養成講座など、市民向け研 修を担当</p> <p>2010年～ 横浜市泉区「地域福祉保健計画」策定アドバイザー</p> <p>2010年～ 横浜市保土ヶ谷区「地域・まちづくり活動支援会議」委員</p> <p>2010年～ 横浜市にて学校・地域コーディネーター育成講座を担当</p> <p>2013年 文部科学省「全国生涯学習ネットワークフォーラム2013 ワークショップ「次世代へつなぐ、まちづくり・人づくり」 トータルファシリテーター</p> <p>2014年 群馬県社会教育指導者養成・社会教育推進セミナー</p> <p>2014年～ 横浜市青葉区「地域福祉保健計画」策定アドバイザー</p>
専門	社会教育、生涯学習、コミュニケーション学、児童教育

27年度 地域日本語教育コーディネーターフォローアップ研修

ファシリテーションを体感する

日 時 8月29日(土曜日) 15:30~17:30

ファシリテーター 竹迫和代 (パブリックハーツ(株)、参画はぐくみ工房代表)

【本日の研修の目的】

- 目的：1. ファシリテーションについて理解を深め、その中でのコーディネーターの在り方について考える
2. 地域日本語教育コーディネーターとは、地域にとってどのような存在なのかを客観的に考える機会とする

【本日のプログラム】

15:30 オープニングタイム

1. 主催者あいさつ(主旨の説明等)
2. ファシリテーター自己紹介&本日の研修について
3. アイスブレイク

15:50 ミニ講義 「ファシリテーションとは生きた場を創ること」

1. ファシリテーションと場づくり
2. コーディネーターとファシリテーターとリーダー

16:05 実践!ファシリテーション 「あなたのグループは生きた場になるか」

1. まずグループ内で場づくりの役割分担(ファシリテーター、レコーダー、文具、スパイ)
2. CMづくりワークショップ(詳しくは別紙参照)

17:05 CMの発表

17:20 質疑応答

17:30 終了

日本語教育コーディネーターへの理解と共感を生み出す CM づくりの手順

ステップ	内 容	材料等
1. 心とカラダのウォーミングアップ	<p>ねらい：頭で考えず、身体全体で表現する面白さを体感する</p> <ol style="list-style-type: none"> CMづくりの意図をわかりやすく話す カラダを動かす <ul style="list-style-type: none"> ・カラダで形をつくる ・3人で木の形、海の中をつくる等 ・写真で伝える 	
2. 個人の胸にあるものを出す	<p>ねらい：日々地域で活動する中で、自分が大切にしていること、目指していること、地域の人に伝えたい事等をはきだす</p> <ol style="list-style-type: none"> ワイルド・マインズ <ul style="list-style-type: none"> ・プロの話聞いて印象に残っていることを白い紙にクレヨンで書きなぐる ・書くことは、言葉でもいいし、絵でもいい。マーク等の象徴的な図でもいい ・人には見せないの、きれいに書く必要はない。とにかく気持ちの赴くまま書きなぐることが大切 詩づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ワイルドマインズをもとに、「詩」をつくる ・「詩」は長くて短くてもよい ・メンバー全員の詩ができれば、一人ずつ朗読する 	A 4 用紙 人数分×2 クレヨン
3. CMプランナーになりきって「心に響くキーワード」づくり	<p>ねらい：個々人の詩から、チームとしてのCM骨格を定める</p> <ol style="list-style-type: none"> キーワードは何か <ul style="list-style-type: none"> ・各人の詩などをもとに、今回のCMで一番伝えたい「キーワード」を決める ・キーワードは白い紙に大きく書いておく CMのスタイルはどうするか <ul style="list-style-type: none"> ・「演劇型」－例えば「白戸家」 ・「フリップ型」あるいは「連呼型」－例えば「保険会社」 ・「TVショッピング型」 ・「ミュージカル型」 ・「朗読型」 等等 絵コンテをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードやCMスタイルをふまえて、CMとしての「起承転結」の4場面を簡単な絵で表現し流れをつくる 	ポストイット 適宜 A 3 5枚×グループ
4. 動きながら細部をつめる	<p>ねらい：実際に演じながらCMとして完成させる</p> <ol style="list-style-type: none"> 演者を決め立ち稽古をする <ul style="list-style-type: none"> ・絵コンテができれば演者を決め、CMとしての演出を考える（必要があれば小道具も作ろう） ・なるべく早い段階からリハーサル（立ち稽古）をしながら作り上げていく ・30秒という時間をきちんと図る チームの看板をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・画用紙にCMのキーワードをマジックで書く 	ストップウォッチ 小道具用の文房具 画用紙 マジック